

樽前山

1 概況

A 火口やB 噴気孔群は高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

2 地震および微動の発生状況

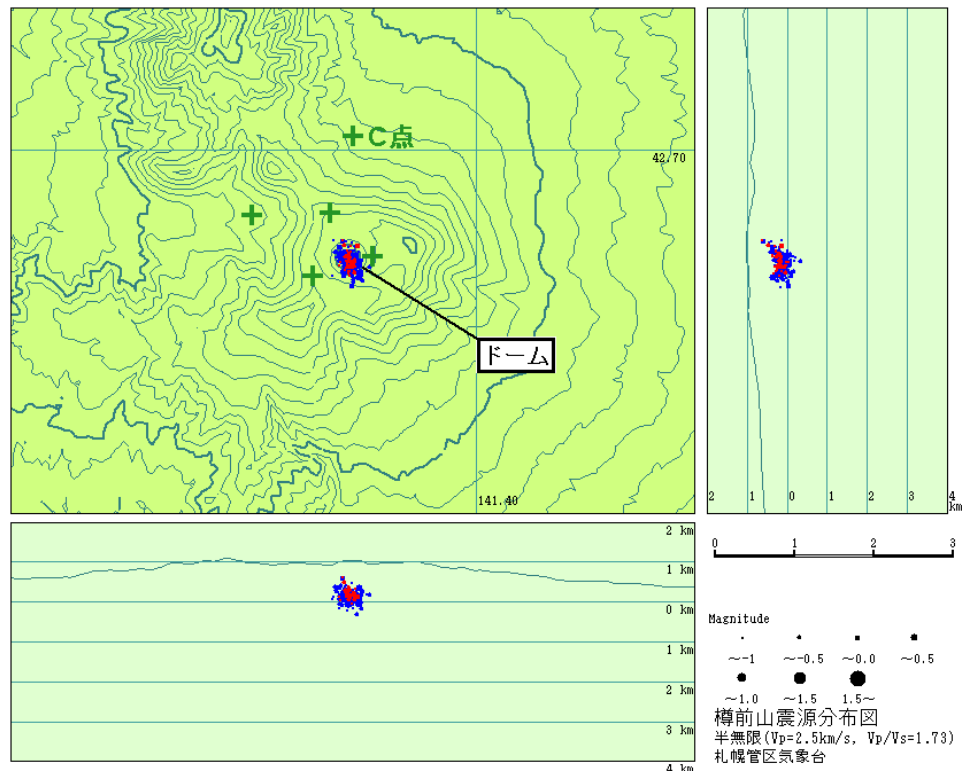
今期間は、1日あたり0~7回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様、山頂火口原の浅部(海拔前後)に分布していました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(C点)

2003~2004年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	283	58	37	10	19	77	34	44	46	81	24	39
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 噴煙の状況

今期間の各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね100m以下で推移しました。

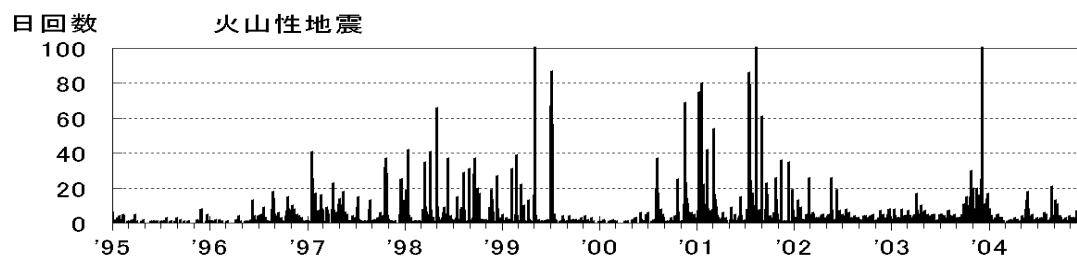
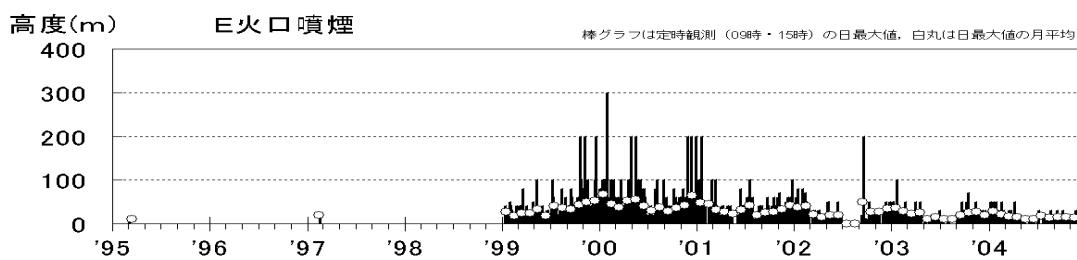
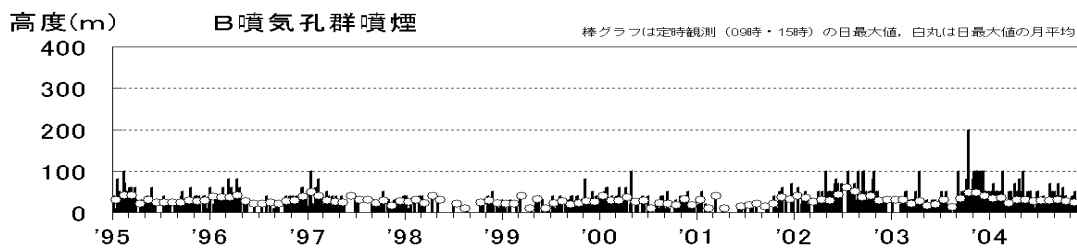
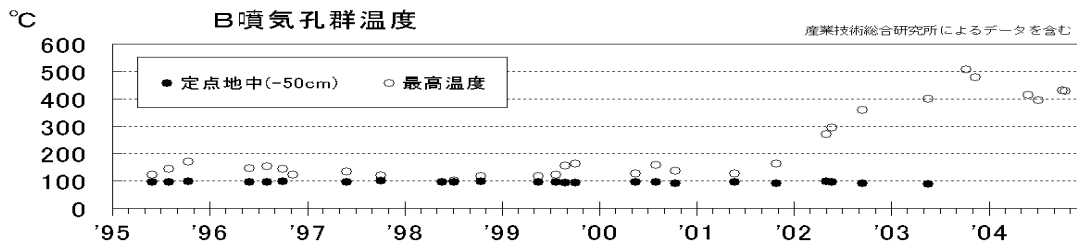
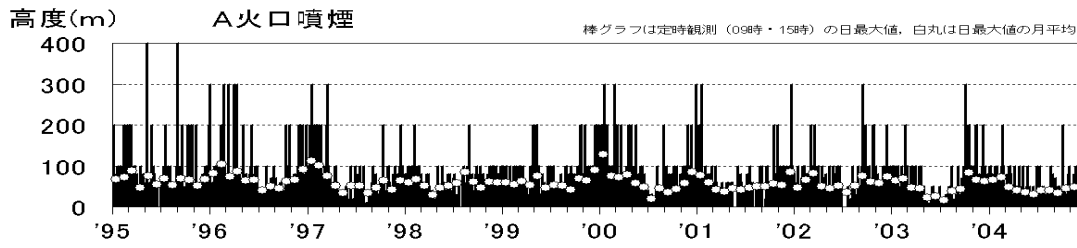
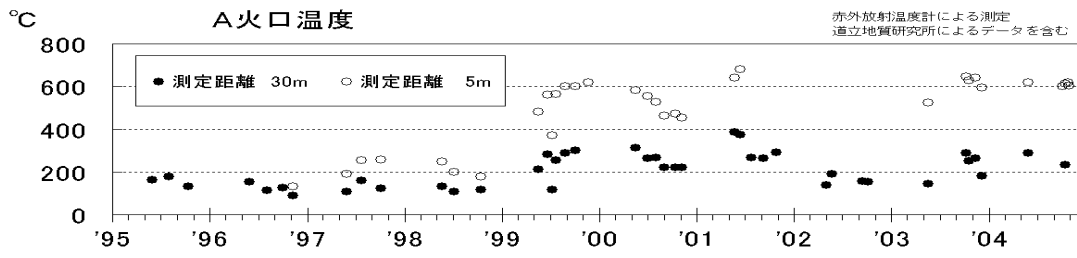


樽前山の震源分布図(丸印:震源、+印:地震観測点)

赤丸は今期間(2004年11月1日~30日)に求めた震源を示しています。

青丸は前期間までの11ヶ月間(2003年12月1日~2004年10月31日)に求めた震源を示しています。

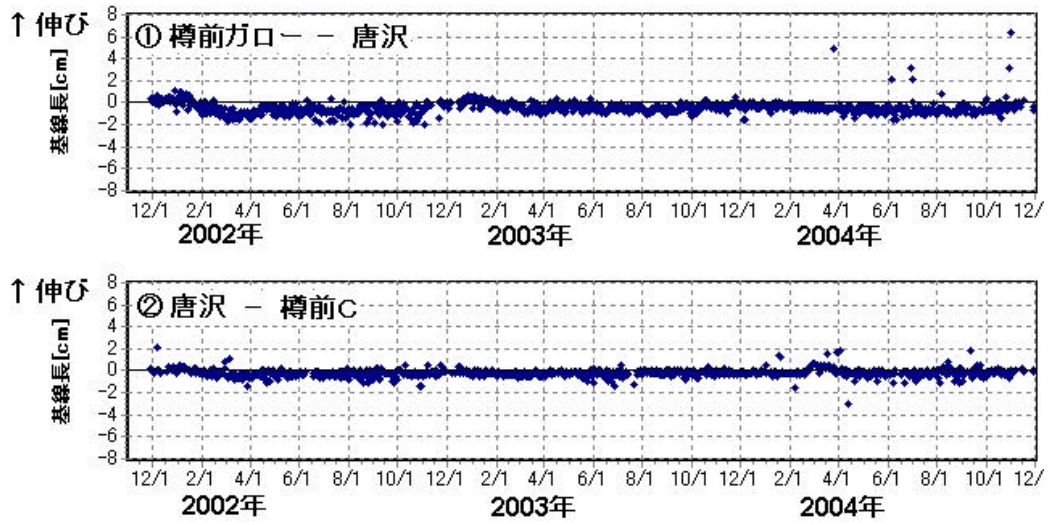
過去の震源分布はほとんどが山頂ドーム直下の浅部(海拔付近)に集中しています。



最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2004年11月30日)

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。



基線長変化(2001年11月14日~2004年11月30日)

